

背泳ぎ森田が銅

終盤強烈な追い上げ

アテネ五輪第4日目の十六日、競泳は決勝4種目などを行い、男子百メートル

ル背泳ぎは森田智己(日大)が54秒36の日本新で銅メダルを獲得した。日

本男子背泳ぎのメダルは88年ソウル五輪金の鈴木大地以来。



男子100メートル背泳ぎ決勝 54秒36の日本新で銅メダルを獲得した森田智己
|| 水泳センターメインプール(共同)

森田は隣のピアソルを追い、リズムに乗った。前半50メートルは6位だったが、ラスト15メートルから強烈な追い上げを見せ、タッチの差で銅メダルを獲得した。

女子百メートル背泳ぎの中村は序盤から飛ばし前半は2位。しかし最後はスタミナが切れ、残り5メートルで4位に落ちメダルを逃した。

男子二百メートルバタフライの山本は自分のペースを崩さず、堅実な泳ぎで決勝へ。松田は予選からの泳ぎの重さを引きずった。女子二百メートル自由形の永井は自己ベストを更新したが、世界の壁にはね返された。(共同)